

である。

なお、資産価値、金額については、財産台帳への価格の登載が、現段階では未整備であり、新公会計制度の整備にあわせて、今後、台帳の整備をしていくこととしているので、その時点で、資産価値も報告できるものと思っている。

【小水力発電】

問 小水力発電導入に対する、町長の所見について

答 小水力発電については、今年度、環境省において「小水力発電による市民共同発電実現可能性調査」が実施されており、町としてはこの調査結果が報告される段階で協議検討を行いたいと考えている。

◆芝 照雄 議員

【金融機関の指定】

問 指定金融機関の指定判断基準について

答 金融機関の指定については、旧広見町、旧日吉村ともに、えひめ南農業協同組合を指定金融機関としていたこともあり、同組合を指定金融機関とすることとし、鬼北町が発足した平成17年1月1日付で町長職務執行者による専決処分を行い、同日付で「鬼北町指定金融機関等を指定する告示」を行ったところである。

問 公金の支払方法としてのカード決済（金融機関等発行）について

答 導入にあたっては、カード支払いのメリット、デメリット、納税者の公平性、手数料等への税投入、コスト、個人情報保護などはもちろん、住民との間で発生しかねない債権債務なども視野に入れて、不測の事態が生じた際の取扱い等、自治体の責任・役割を明確にし、住民の理解合意を得て制度設計していくことが必要であると考えている。

【町道整備状況】

問 町道の全長と、整備完了区間と未整備区間の比率について

答 町では現在、647路線、延長に、258、965メートルの町道を管理している。この内、改良済延長は146、108メートルで改良率56.4%となっている。

内訳については、1、2級の改良済延長が59、455メートル、未改良延長が22、714メートルで改良率72.4%、その他の町道は、改良済延長86、653メートル、未改良延長90、143メートル、改良率49%となっている。

問 今後の町道整備に関する考えについて

答 町では平成18年度に長期総合計画を樹立し、平成21年度に直近の財政状況を勘案した10年間の中期行財政計画を策定した。町道の整

備についても、今後はこの中期行財政計画を基に進めていくことになると考えている。

【町バス運行】

問 今後の町バス等の運行整備計画・支援策について

答 現在のところは、バス撤退路線については、必要に応じ、代替バスを運行しているのが実態である。日吉の犬飼線の代替バスの拡大延長など、検討調整を行っている路線もあり、また、今後将来的には、主要国道や県道から分岐した町道の多くに町バスを運行するなど、何らかの支援策を講じなければならぬとなると、相当な事業経費を伴うことになるものと想定されるので、十分かつ慎重に検討していかなければならないと考えている。

高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進するためにも、容易に利用できる地域住民の交通手段の拡充および確保について、行政が実現可能な支援や、あるいは、地域全体で助け合い、実現できる仕組みづくりの検討やそれに対する助成などの検討も行っていくと考えている。

◆稲垣 伸雄 議員

【町民目線とスピード感】

問 職員の月収圧迫について

答 鬼北町職員の給与の状況については、普通会計決算における平成

20年度の職員員の平均給与費の状況は、類似団体とほとんど同じである。

鬼北町職員の給料は、平成18年の人事院勧告に基づく給料表の改定等により、従来の7級制から5級制に、また、職員の中には40歳台後半から給料の昇給がストップしている者もいることから職員の仕事への意欲をそぎ、士気低下への危惧もしている。

現段階では、職員の給料月額や総人件費が町財政を圧迫しているとはまでは言えないにしても、総人件費を抑制するため職員数を削減していくことは避けては通れないものと考えている。また、職員の仕事への意欲を損なわない範囲や方法で、職員の給料月額を抑制することは可能ではないかと考えている。

さらに、将来の町政を担い、住民の信頼に応えられる有能な職員を育成するためにも、国の人事評価制度等も参考にしつつ、行財政の健全化に最大限の努力をしていかなければならないと考えている。

問 あいさつが出来ていない職員について

答 職員に対しては、職員会や庁議などの際に、あいさつの励行、住民の応対等について訓示し、注意を喚起するとともに、職場環境の浄化に向けた意識付けを行っているところだが、未だに、そのような指摘があることは大変遺憾に思っている。